

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽学喜サポートanemonemihama		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～ 令和 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～ 令和 8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 5月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	・毎日、活動に入る前のミーティングや職員会議で児童の様子を連携し、有効な事は支援に繋がられるようにしています。 ・密に健康観察が必要な児童は記録ノートを取り手立てにしています。	・毎日の観察、記録を怠らず、引き続き職員と保御者の連携を行っています。
2	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	支援センターでのリハビリの様子の見学、保育園や幼稚園に通う児童は、関わりの見学をさせてもらい本児の様子を情報共有しています。直接、観察することで支援に活かしています。	児童の為にはとても大切な連携になるので今後も、同じ取り組みを行い相互理解に取り組みたいと思います。
3	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	利用予定表や活殿の内容、日々の児童の様子を保護者には送迎の際お伝えしています。また、LINEを活用し写真や様子をお知らせしています。	個人情報の取り扱いには気を付けて、児童保護者の方の伝達を今度とも行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	・各マニュアルは法人で研修を行い作成、会議を設けていますが、保護者への周知が不十分である。	・各マニュアルについて、避難訓練等も含め冊子にして配布する等、保護者へ周知していきたいと思っています。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	・以前は、家族に向けて専門の方から講話を設けたりしたが、年間の行事で組み込まれておらず取り組めていません。	・年に一度は計画を行い、事業所からの研修を取り組みたいと思います。外部からの研修も積極的に保護者へ案内を付けています。
3	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	子どもへの適応行動は行動観察が主に行っています。標準化されたフォーマルなアセスメントと収集になっていない	今一度、5領域に合わせた取り組みとツールを用いた新たな取り組みが出来るよう勉強し取り入れて行きたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 楽学喜サポーターanemone mihama

公表日 令和 8年 5月 15日

利用児童数 12名 (令和7年 3月 31日時点)

回収数 8/12 (76.9%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				支援員の方々だけでなく、STの方も関わってくれていてとても助かります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7				1	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1			1	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				1	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					保護者と職員の方々、皆で一緒に育てている感がとても心強いです。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6				2	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1	怪我をすることが多いので、その都度丁寧に説明してくれています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	楽学喜サポートanemone mihama		公表日 令和 8年 5月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	バリアフリーではないが（トイレなど）できるところは工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			法人研修を行い、改善に取り組みようとしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			週に一回は職員会議を設けており、業務改善や児童の共有に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	職員を他事業所と職員のスイッチして新しい視点を取り入れられる機会がある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人研修の他にも外部の研修会の知らせが掲示されていて、参加希望の際には勤務調整してくれる年3回の研修がおこなわれている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		予定表の作成、保ご者への配布がなされている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		毎週職員会で話し合い、作成職員3名以上で記録する際、参加し、意見の場を設けている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		週1回の職員会議内で、児童の情報共有を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員会議で共有される場を設けている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		ファイルとしてまとめている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインの作成、研修の場を設けている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		会議、朝の会の場で立案、情報共有している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動予定表の作成、相談をおこなっている。他の事業所を参考にして見直しも行っていきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝の会（職員の）、会議で情報共有おこなっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		今日の振り返りを常に行い、お休みの職員にもLINEで情報共有おこなっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		午前中、利用児童がいない時間を活用して、記録の時間を設けている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	「あすなる」さんの研修を受けるなど支援につなげられるよう努めています	・個人で受けた研修等で話を聞くことはあるが、事業所としては分からない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	公園での活動で交流がある ・児童館を使用しています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・ゆんたく会の場を設けている ・町内の研修がある場合は案内しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		LINEアプリ機能や電話、お手紙を活用している		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・毎年、親子プログラムを開催し（ミニ運動会を開催）保護者同士きょうだい同士で交流する場を設ける	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		地域を招待しての行事を行ったことが無い、今後取り組んでいきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		法人研修でおこなっている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		基本的には保護者から聞き取り対応し、必要であれば医師からの指示を提出してもらっています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		ヒヤリハットの作成、会議で共有	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		その都度、児童の行動確認をし防止に繋がっています。怪我をした場合も職員と共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・年一回は外部研修を受け周知しています。 ・法人研修で虐待防止委員会を設けています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		現在、対象の児童は居ないので行っていません	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽学喜サポートanemonemihama		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～ 令和 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～ 令和 8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 5月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子供の事を十分に理解し、子供の特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	・研修を積極的に受けて特性理解に繋がっています。 ・児童のアセスメントを行い、対応に有効であったことはすぐに共有し支援に繋がっています。	・ツールを使用した分析の仕方なども検証していきたいと思っています ・一つの方法で留まるのではなく、多職種と連携することで深めていきたいと思っています。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、兄弟向けのイベントの開催により2, 兄弟同士の交流の機会が設けられる等、兄弟への支援がされているか。	ゆんたく会等を通して保護者の交流の場を設けたり、行事として親子レク等を行い兄弟を含めたイベントの参加が出来るように取り組んでいます。その際、児童の成長を保護者と共有しています。	保護者会の内容を、多岐に考えていきたいと思っています。
3	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を開催する機会が確保されているか。	・年に三回は法人で虐待防止・BCP・外部講師を招いての研修を行っています。 ・外部研修も積極的に参加し伝達研修を通し理解、資質向上に繋がっています。	・沢山の職員が受けられるように時間の調整をしてあげ、必要な経費は出資を検討する。研修の取り組みも、色々な分野を勉強して行きたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務に繋げている	時期、どのように取り組むのか外部評価の在り方の概要をあまり理解していないと思います。	会社と外部評価の検討を行い、年間で計画を立てる必要性があると感じます。
2	協議会へ積極的に参加しているか	近隣の市町村へ訪問し、協議会について積極的に情報を得ていない	今後は、市町村へ確認し開催がある時は参加していきたいと思っています。
3	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営をしているか	公民館を借りて行事を行うなどしているが、地域住民を招待するにまだ至っていない	・近隣の事業所と連携して情報を集め、自事業所でどのような取り組みができるか、予算や内容を検討し、時期をみて取り組んでみたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		楽学喜サポート anemone mihama		公表日		令和8年 5月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	バリアフリーではないが、できるところは作るなど工夫している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		職員の確認のもと、使用できることが認められている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		面談（必要に応じて）対応して頂いている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人研修の他にも、外部の研修会のチラシやメールが掲示されていて参加希望の際には勤務調整をしてくれる		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		毎週の職員会で話し合い、作成。 職員会議にて時間をかけて話し合う機会を設けていると思う		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		各自に合わせたツールを用意することが多いと思う		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節感やその時々イベントなども情報を集めながら立案していると思う 子ども会議を活動内でおこない、プログラム案を出す場をもうけている アイデア豊富な職員が多い	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			個別活動、音楽、言語以外で自由あそびになるのか？今後必要であれば時間をもうける
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼やLINEグループアプリをつかって、情報共有をおこなっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		連携しているところもあるが、していないところもある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		移行するデイと情報共有しているのか分からない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	「あすいろ」さんの研修を受けるなど、支援につなげられるよう努めています きこえの支援センターの方に講義してもらったり、中部療育センターへリハ見学(助言など)で学ばせてもらっている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	公園に出かけた時等オゴっこを一緒に楽しむ事がある ・児童館や公民館を活用しています。	児童館や施設を事業所としては活用したいので、今後行っていきたいです。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	分からない	市町村へ確認をし、今後行っていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		LINEアプリでのメールやりとり、送迎時申しおくりでの情報共有をおこなっている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8				
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			カギの施錠保管をおこなっている	保護者にその都度、確認し十分な配慮を行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		夏祭りを行った際、地域の方が参加した時もある	まだ積極的にはできていないが今後取り組んでいきたい 地域住民を招待する等は行っていない 行えていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				安全計画の確認周知の場があまりないように感じる→書面にし保護者会等で取組み内容を周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・日頃から児童の行動を観察し、未然に防げるようしています。職員会議の共有おこなっている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・年一度は必ず虐待防止研修を受け、受けた者から内部研修を行い徹底周知している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3			該当児がない	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 楽学喜サポート anemone mihama

公表日 令和 8年 5月 15日

利用児童数 令和8年 3月 31日

回収数 10/13(76.9%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1			化学物質過びん症について少し気になります。香害での柔なん剤の強いニオイは発達障がいの子にも負担があると聞きう心掛けていきます。匂いからの刺激を避ける為に洗剤は無臭に変え、室内と車内の換気を強化し気を付けたいと思います。	・ご意見ありがとうございます。室内は毎日清掃し、出来るだけ清潔に保てるよう心掛けていきます。匂いからの刺激を避ける為に洗剤は無臭に変え、室内と車内の換気を強化し気を付けたいと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1		3		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9			1		今後は計画書の説明を丁寧に行っていきたいです。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8			2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			親同士のおしゃべり会や家族で参加できるイベントがあり、みんなで育てていこうという姿勢が良く伝わります。		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				ラインや電話で直ぐに状態を伝えてくれるので助かっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9		1	私がSNSネットでチェックする時間が少ないので気付かずです	ホームページやワムネットの案内を事業所側からも案内掛けていきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				アネモネが大好きで卒業した兄弟も未だに通いたがる程です（笑）	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				細やかな配りよに事務的なレンラクややりとりも全て含めて大満足です	